

会議録

- 議事内容 2024年度 9月定例教育委員会
- 日時 令和6年9月30日(月) 14:00~16:45
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 小西 博泰
教育委員 河嶋栄里子・藤本真理・石原友紀・酒井秀彦
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
竹内スポーツ振興課長・教育総務課 小畑

■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ
・教育長

- 2 前回議事録確認

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q：10ページの屋外用ミストについての質疑で、サッカー部の簡易的ミストについての応答は、話の流れを見ると不要だと思うので、削除した方がよい。(教育委員)

A：削除する。(教育長)

Q：9ページの旭丘中学校の仮設校舎賃貸借契約についての質疑で、「この金額は安いものなのか」という文言がなくても、質疑の意図が伝わるので、削除した方がよい。(教育委員)

A：削除する。(教育長)

(全委員一致で承認)

3 報告事項

- ・令和6年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■ [学校教育課関連]

①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・幼稚園「預かり保育」の条例制定については、議会で承認され、11月からスタートできるように準備を進めている。
- ・市の教育支援委員会については、大きなトラブルもなく、就学への準備を進めている。

(今後の予定)

- ・10月5日、英語検定をコミセンおので実施する予定である。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・熱中症対策については、学校が細かく対応しており、大きな事故には繋がっていない。

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗状況)

- ・デジタル連絡ツール「スクリレ」を導入する予定にしている。
- ・USB及び個人情報の取扱いについて、厳重に注意する旨の通知を出している。重ねて、10月の校長会でも同様に通知する予定にしている。

④学校教育課情報

1 市の取組

- ・9月11日(水)、18日(水)、24日(火)、27日(金) 教育支援委員会
- ・10月5日(土) 英語検定(コミセンおの)

2 学校の取組

○小・中・特別支援学校 修学旅行

- 9月 3日(火)～9月 5日(木) 河合中(東京方面)
- 9月12日(木)～9月13日(金) 河合小(奈良・京都方面)
- 10月 9日(水)～10月10日(木) 市場小・下東条小(奈良・京都方面)
- 10月15日(火)～10月16日(水) 小野小・来住小(奈良・京都方面)
- 10月16日(水)～10月17日(木) 小野東小(奈良・京都方面)
- 10月17日(木)～10月18日(金) 大部小・中番小(奈良・京都方面)

○小学校 自然学校

- 9月 2日(月)～9月 6日(金) 中番小(嬉野台)
- 9月 9日(月)～9月13日(金) 小野東小・河合小(南但馬)
- 9月23日(月)～9月27日(金) 市場小(嬉野台)
- 9月30日(月)～10月 4日(金) 小野小(嬉野台)、来住小(国立淡路)
下東条小(南但馬)
- 10月 7日(月)～10月11日(金) 大部小(嬉野台)

3 学校の状況等

○8月 4号報告 なし

○8月の不登校の状況 ()内は前年数値

小学校19名(15名)、中学校71名(83名) 合計90名(98名)

教育サポートセンター及び校内サポートルームの取組で、ようやく歯止めがかかっている状態である。しかし、数字が右肩上がりである点については、抑えられていない部分もあるため、取組の充実進化を進めていきたいと考えている。

また、校内サポートルームを設置していない小学校で、少し増えていることが気になっている。不登校の出現率に関しては、小中学校合わせて2.44%であるが、中学校では5.35%と高いため、中学校の出現率を抑えることが、全体の不登校数の増加を抑えることに繋がるのではないかと分析している。

4 その他

○連絡ツール「スクリレ」について

連絡ツール「スクリレ」は、学校から保護者のスマートフォンに連絡を届けることができ、保護者からの出欠連絡もアプリを通してできる。また、学校だよりや様々な案内をPDF化し、デジタルで送付できるため、学校の業務改善も進むのではないかと考えている。しかし、学校だよりや様々な案内は、子どもの手で、保護者に渡すということが大事な部分でもあるため、そこは大事にしながら、学校には、デジタルばかりに頼らないような活用を促していきたい。

さらに、「スクリレ」は、学校と保護者との連絡だけでなく、地域の方々との連絡ツールとしても活用できる。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：不登校の原因が、体調不良だという子どもは多いのか。例えば、起立性調節障害等で、学校に行きたいのに体調不良で行けない等といったような子どももいるのか。(教育委員)

A：体調不良ではなく、学校の環境・友達関係・学習等、様々な理由で不登校になっている子どもたちが多く、起立性調節障害を持った子どももいるが、放課後に学校に来たりしているため、出席としてカウントしている。(事務局)

Q：校内サポートルーム等の取組で、不登校の子どもたちの数が少しずつ減っているとのことであるが、例えば、「学校に全く行くことができなかつた子どもが、校内サポートルームを通じて、一歩前に行くことができるようになった」のか、それとも「教室に行っていた子どもが、校内サポートルームを利用することによって緩和されている」のか、そういった細かい部分での人数等はカウントされていたりするのか。(教育委員)

A：そういった細かいところの人数までは、追っていない。しかし、「学校に行くかどうか悩んで、行かない判断をしていた子どもが、校内サポートルームができた

ことで、学校に行ってみようという判断をする子どもが増えてきた」、「学校には来ているが、教室に行くことができなかつた子どもが、教室に行くことができるようになった」という2パターンの報告を受けている。どちらかという、後者の子どもたちが増えてきていると聞いている。(事務局)

Q : 校内サポートルームが配置されていない学校は、今後、どのように対策されるのか。(教育委員)

A : 今のところ、不登校がゼロの学校や、踏ん張っている学校については、そのまま、次年度も不登校が増えそうな学校には、配置していきたいと考えている。しかし、先生方の工夫や組織的な対応で頑張っているところに配置してしまうと、それに頼ってしまい、頑張りを止めてしまう可能性があるため、出現率や状況等を見極めながら考えていきたい。(事務局)

Q : 出現率が上がる原因や背景等はあるのか。(教育委員)

A : 例えば、経済的に厳しい家庭の兄弟が、休みがちになってくると、小さい学校では、出現率が一気に上がったりする。しかし、その子どもへのアプローチをどのようにするかによっては、一気に下がる可能性もあるので、まずは、学校内で分析して対応してもらう必要がある。(事務局)

Q : 加東市の東条学園を見学した時に、保健室に通じる道で、子どもたちに見られないようにそっと入れる別の道があると伺い、工夫されているなどと思った。小野市の学校には、そういった工夫はあるのか。(教育委員)

A : 学校に入る時には、校門から入らなければいけないが、校内サポートルームは、以前、別室登校として利用していた部屋や、クールダウンできるように置いていた部屋を活用しているため、教室から少し離れていたり、昇降口から気付かれないうちに入ることができる部屋になっている。(事務局)

Q : 共働き夫婦が増え、朝早く出勤される保護者が多いため、都会の方では、学校を朝7時頃から開放し、登校時間まで子どもたちを見守る取組をしているとニュースでみた。そういった取組を考えていたり、要望が挙がったりしていないか。(教育委員)

A : 午前7時からの校門開放は、豊中市がやっている取組である。(事務局)

A : 小野市では、今のところ、そういった要望はない。また、学校を朝早く開けるために、教員を出勤させることは、業務改善上、逆行していることでもある。子どもたちを朝早く預かる部分については、教育ではなく、保育の話になってくるため、もし、そういった取組をするのであれば、福祉関係の課と連携をとらなければならない。

これは、個人的な意見であるが、要望をすべて、学校現場で受けることは、無理

があるため、まずは、保護者が就業されている企業が、出勤時間を考慮する等の対応をする必要があるのではないかと考えている。(事務局)

Q : 学校から帰った時、子どもだけの家庭が多くなっているが、先生方は家庭訪問等である程度把握されているのか。(教育委員)

A : 把握している。学校では、アンケート調査等で、ヤングケアラーの子どもが何人いるのかも把握している。(事務局)

Q : たくさんのアプリがある中で、連絡ツール「スクリレ」を導入する理由を教えてください。(教育委員)

A : 加東市が導入した「テトル」、小野市の公式LINE、「スクリレ」の3つのアプリを比較分析し、

- ① 費用が無料である
- ② 保護者の個人情報の登録が不要
- ③ メールが届かないような非常事態でも情報を見ることができる掲示板機能がある
- ④ 手順書がベトナム語やインドネシア語等、多言語に対応している
- ⑤ 年度更新が手軽にできるため、先生の負担が少ない

という点から、「スクリレ」を導入することを決定した。アプリが非常にシンプルなため、大きな不安はないと感じている。(事務局)

■〔教育総務課関連〕

①おの幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・設計業務委託については、進捗率は90%で、最終調整を行っている。

(今後の予定)

- ・入札を11月に行い、12月の議会で契約内容について議決後、令和7年1月、工事に着手する予定である。

②学校施設長寿命化対策事業(旭丘中学校)

(進捗状況)

- ・校舎建設工事の進捗率は92.3%で、工程どおり進んでいる。8月28日に、生徒見学会を開催し、子どもたちは、自転車のヘルメットを被って、工事の現場を見学した。
- ・体育館建替工事設計業務の進捗率は34%で、順調に進んでいる。現在、屋根の構造、渡り廊下や外溝整備について、打合せを行っている。

③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・小野小学校エレベーター設置工事の進捗率は90%で、9月30日に完了検査を行い、10月からエレベーターを使用できる予定である。南校舎と北校舎の間には、渡り廊下としてウッドデッキが設置されている。
- ・市場小エレベーター設置工事実施設計業務は、進捗率30%で、順調に進んでいる。

④教育総務課情報

1 ICT教育推進事業

○学校用NAS（ファイルサーバ）購入設置

9月25日入札落札 3,839,000円

オーヂヤ商事株式会社 9月25日～令和7年1月27日

2 学校施設工事等関係

○市場小学校空調更新工事

5月7日入札落札 67,430,000円

中島水道設備株式会社 5月8日～令和7年1月20日

→9月30日、工事完了。

○河合小学校空調更新工事

5月29日入札落札 63,030,000円

三輪設備 6月3日～令和7年1月31日

→9月30日、工事完了。

○小野小・小野中学校空調更新工事設計業務委託

6月25日入札落札 11,550,000円

宮永建築設計事務所 6月28日～令和7年3月21日

→9月2日、打合せ（空調能力・空調機器の検討）

○小野小学校LED化工事設計・監理業務委託

5月17日入札落札 2,805,000円

藤野一級建築設計事務所 5月20日～令和7年3月25日

○小野小学校LED化工事

8月6日入札落札 9,625,000円

有限会社ハタヤ電設 8月8日～令和7年1月20日

→9月20日、学校打合せ・現地調査を行った。10月中に普通教室、12月の

冬休みに職員室の照明を、蛍光灯からLEDに切替する予定である。

○下東条小学校プール槽改修工事

8月28日入札不調、9月26日入札落札 8,008,000円

パワーレックス株式会社 9月27日～令和7年2月28日

3 その他

○河合中学校大規模改修検討委員会

・10月2日、コミセンかわいにおいて、第1回検討委員会を開催する予定である。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：小野小学校の体育館から職員室に行く途中、段差が多かったが、車椅子の子どもは、体育館までどのようにして通っているのか。(教育委員)

A：階段については、介助員の方が抱えて通っている。南校舎と北校舎の渡り廊下については、10cm程度低かったため、ウッドデッキを設置することで全体的に廊下を上げて、フラットで通ることができるようになっている。そのほかに、5cm程度の段差があった箇所についても、新たにスロープを設置している。(事務局)

Q：9月初旬、人権講演会に参加したが、学校の体育館が非常に暑かった。来年の夏までに体育館に空調を設置する予定と聞いて安心しているが、講演会の開催時期も考えた方がよいのではないか。(教育委員)

A：以前、人権講演会は10月に開催していた記憶がある。(教育委員)

A：コロナ禍で、しばらく講演会を実施していなかった。PTAが主催の講演会なので、今までのノウハウが一度途切れてしまったためではないかと思う。(事務局)

Q：各校の講演会を聞いたが、2種類の傾向があった。1つは、SNSに対して注意喚起する講演で、もう1つは、SNSの危険性について実体験を通して注意喚起する講演であった。私自身、初めて参加したが、後者の講演会の方が、聞き入ってしまった。SNSの危険性についての講演で、実体験というとなかなか難しいとは思いますが、通り一遍の講演より、もう少し子どもたちに響くような工夫が必要なのではないかと感じた。(教育委員)

A：有名なユーチューバーが炎上した話や、「このアプリを持っているか」といった質問等で、子どもたちは盛り上がっていたので、そういった具体的な話を盛り込みながら、危険性等を伝えていけば良いのではないかと思う。(教育委員)

A：講演会で「これは犯罪者が見ているサイトだ」等と聞くと、子どもたちも声を上げて反応していた。(教育委員)

A：「小野市でも、アプリで薬物関係の取引が行われている」等と聞くと、保護者も身近なところにも危険があることを理解しているのではないかと思う。（教育委員）

A：SNSの講演は、子どもたちに注意喚起を促す一方で、保護者に知ってほしいという意向の方が強い。SNSの危険性を理解せずに使用している大人が多く、そのまま子どもが使用することで、歯止めがかからないという恐れがあるため、講演会では少し怖い話を盛り込むことが、主流になっている。例えば、「SNSでこんなひどい目にあった」等といった体験談を聞く方が、子どもたちも親身になって聞くとは思うが、なかなかそういった体験をした方を探すのが難しい。確かに、体験をした方が話したり、心に刺さるような話があったりすると、SNSの怖さも、もっと伝わるのかもしれない。（事務局）

■【いきいき社会創造課関連】

①小野市詩歌文学賞・短歌フォーラム事業

○第17回小野市詩歌文学賞・第36回上田三四二記念「短歌フォーラム」
（進捗状況）

- ・9月17日現在の投稿数は、一般の部が約180首、学生の部が約3,100首で、徐々に集まってきている。
- ・10月10日、学生の部の短歌を下選考に出すため、現在、1首1首チェックしている。

②図書館事業～新たな図書館のあり様（将来の夢構想）～

○市立図書館システム更新事業

（事業概要）

令和6年11月末にOSサポート及びメーカー保守が終了する図書館システムを更新し、図書館の安定した運営と業務の効率化を図る。また、システム更新に併せ、マイナンバーカードに関する法律改正に対応するためのシステム改修及び館内のWi-Fi環境整備を行う。

（今後の予定）

- ・10月4日、業者とスケジュール等の打合せをする予定である。
- ・11月19日から26日の図書館休館期間に、機器更新作業等を行う予定である。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

〔いきいき社会創造係〕

○2025小野市成人式

・第3回小野市成人式実行委員会

日 時：9月2日（月）19時00分～21時00分

内 容：コミセンだより12月号で、実行委員紹介

社会貢献活動の検討（ハーフマラソン参加、ボランティア活動等）

・第4回小野市成人式実行委員会

日 時：9月19日（木）19時00分～

内 容：式典プログラムの検討

社会貢献活動の決定（10月27日、社会福祉協議会主催のボランティアフェアに参加予定、ハーフマラソンに参加予定）

○小野市文芸大会（主催：小野市文化連盟）

表彰式 日 時：9月21日（土）13時00分～

場 所：小野市伝統産業会館 第1・2研修室

投稿数 181首（市内18首）※昨年度188首（市内25首）

受賞者 市長賞、教育長賞、文化連盟会長賞・・・各1名、入選・・・10名

〔図書館〕

開催日・期間	事業名	内容
8月21日（水） ～8月23日（金）	県立小野高等学校インター ンシップ受入れ	小野高等学校ビジネス探究科2年生1名 を対象に、図書館業務の体験を実施

〔好古館〕

開催日・期間	事業名	内容	入館者数
7月6日（土） ～9月1日（日）	企画展「むかしの小 野写真展－明治・大 正・昭和の風景－」	明治時代から小野市合併ま での小野市域の歴史や移り 変わりを写真で紹介した	1,651人
9月16日（月・祝）	観月茶会	好古館横柳風園でお月見を しながら、日本の伝統文化の 茶道を楽しんだ	191人

〔コミセン〕

○地域づくり協議会事業

地区	開催日	事業名	内容	参加者数
おの	9月 7日（土）	三世代交流アジ ャタ大会	小学6年生以下のキッズ の部、一般シニアの部	124人
	9月15日（土）	日本の調べ	出演：春千音会、	100人

		箏・尺八コンサート	寺子屋の子どもたち、シフォン、グループ和 特別出演：折本大人樹	
いちば	8月24日(土)	三世代交流ふれあい囲碁ボール大会	三世代(小学生、一般、高齢者)でチームを作り、囲碁ボールを通して交流を深める	73人
おおべ	8月24日(土)	おおべ未来塾「夏の夜空の観察会」	4年生理科授業「夏の夜空の星」を補完するため、地域づくりが学校支援として実施する	17組 33人
下東条	8月3日(土)	第46回下東条地区夏まつり	地域住民の交流や地域の賑わいづくり	2,000人

○コミセン自主事業

地区	開催日	事業名	内容	参加者数
おの	8月1日(木)	脳活性・身体と心「らく楽講座」	18歳以上を対象とした「パステル和アート教室」「脳活性楽々ヨガ教室」	11人
	8月8日(木) 22日(木)	筆文字アート教室	18歳以上を対象とした筆文字基礎を習う教室	15人
	8月21日(水)	子ども書道教室	小学3年生から6年生を対象とした毛筆教室	7人
	9月7日(土) 8日(日)	ふれあいまつり	サークルによる作品展示、舞台発表	400人
かわい	8月3日(土) 17日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室	33人
きすみの	8月27日(火)	自力整体教室	骨盤のズレを正すことにより、腰やひざの痛み、肩こり等の体の不調を改善	11人
	8月29日(木)	おいしいアイスコーヒーの楽しみ方	おいしいアイスコーヒーの淹れ方や楽しみ方の実演	13人
おおべ	8月3日(土) 24日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室	26人

2 今後の予定

〔いきいき社会創造係〕

○東はりま大茶会 ※事前申込制

日 時：10月20日（日）10時00分～17時00分

場 所：三木山森林公園

・主席：三木市（音楽ホール）

・副席：小野市（多目的ホール）

〔図書館〕

○マナーアップキャンペーン

開催日・期間	事業名	内容
10月 1日（火） ～10月31日（木）	マナーアップキャンペーン	利用マナーの向上を呼びかけるため、「本からのSOS展」と題し、エントランスホールに汚損・破損資料を展示。 期間中、カウンター前で啓発しおりを無料配布

○読書週間イベント

開催日・期間	事業名	内容
10月21日（月） ～11月18日（月）	レファレンスってなに？	図書館員が調べものの手伝いをする「レファレンスサービス」について周知するため、過去の質問と回答、提示した資料などを展示
10月21日（月） ～11月18日（月）	みんなの知りたいボックス	本で調べてみたいことを質問できる用紙と受付ボックスを設置。後日、職員が図書館の本を使って回答。質問と回答は、1月以降に館内で掲示する予定
① 10月26日（土） ② 11月 2日（土）	一日図書館員体験	小学校4～6年生を対象に、カウンター、返本、本の装備を体験できるイベントを計画。定員は各回6名
① 10月27日（日） ② 11月 3日（日）	親子 de 図書館探検ツアー	小学校1～3年生とその親を対象に、普段見ることのできない書庫などを図書館員が案内。定員は各回5組10名
11月 4日（月）	第5回朗読会	朗読ボランティア「サークルたんぽぽ」による大人向け朗読会を実施。対象は中学生以上

〔好古館〕

開催日・期間	事業名	内容
9月14日（土） ～11月10日（日）	特別展「大部地区のあけぼのー明治・大正・昭和ー	発掘調査の成果等から大部地区の原始から中世の歴史を紹介

	和の風景ー」	
11月23日(土) ～翌年5月25日(日)	企画展「ザ・昭和のくらし 小野市70年のあゆみ」	今年、市制70周年を迎える小野市の70年のあゆみを紹介

[コミセン]

○地域づくり協議会事業

地区	開催日時	事業名	内容
おおべ	9月21日(土) 14時00分 ～20時30分	おおべのショー	二胡演奏、地域の園児・児童・生徒・大人が中心になり、地域をあげて多彩な催しを実施

○コミセン自主事業

地区	開催日	事業名	内容
おの	9月 5日(木) 19日(木)	脳活性・身体と心 「らく楽講座」	18歳以上を対象とした「パステルとアート教室」「脳活性楽々ヨガ教室」
	9月12日(木) 26日(木)	筆文字アート教室	18歳以上を対象とした筆文字基礎を習う教室
	9月 4日(水) 18日(水)	子ども書道教室	小学3年生から6年生を対象とした毛筆教室
	9月18日(木)	月を愛でる茶会～ 薄茶を美しくいただくワンポイント～	お点前1回目 19時00分～ お点前2回目 20時00分～ お点前を見ていただいた後、講師から薄茶を美しくいただくワンポイントレッスン
かわい	9月 7日(土) 21日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室
	9月13日(金) 27日(金)	自力整体教室	骨盤のズレを正すことにより、腰やひざの痛み、肩こり等の体の不調を改善する
きすみの	9月10日(火) 24日(火)	自力整体教室	骨盤のズレを正すことにより、腰やひざの痛み、肩こり等の体の不調を改善する
おおべ	9月 7日(土) 21日(土)	子ども書道教室	小学生を対象とした硬筆と毛筆の教室

○ガスバルク貯槽設備更新工事 (コミセンおおべ)

- ・ 5月13日 工事執行伺決裁、入札執行依頼書を財政課へ提出
- ・ 6月 6日 入札1回目、2回目とも不調
- ・ 6月28日 伊丹産業電設株式会社に随意契約による見積依頼
→見積結果 1,980,000円(税込)
- ・ 7月10日 伊丹産業電設株式会社と契約締結
- ・ 10月4日 がスバルク貯槽設備更新工事(コミセンおおべ臨時休館)

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：観月茶会に初めて参加した。茶室に入ると掛軸の説明や生花や茶器の話も聞けるうえに、綺麗な月を見ながら、お抹茶をいただけるので、もっと案内してもよいのではないかと思った。(教育委員)

Q：外国の方と一緒にいったが、花や掛軸の説明を聞いて、日本人でもなかなか経験できないような雰囲気、お抹茶をいただくことができたので、非常に喜ばれていた。(教育委員)

A：茶室の席は、お点前を見ることができないので、お点前を見たい方は外でいただいているようである。確かに、茶室は人数の制限はあるが、もっと案内してもよいと感じた。(事務局)

Q：小野市文芸大会のことが新聞に掲載されていた。投稿数や来場者数等は多かったのか。(教育委員)

A：投稿数は、昨年度と同様に多かった。来場者数は、昨年度より少ないように思えたが、選評された先生から、短歌の添削や講評が聞けるため、今年度も好評であった。(事務局)

Q：先日、会議でコミセンおのを利用した時、駐車場が満車であった。コミセンおのの駐車場が足りない等といった苦情はないか。(教育委員)

A：今のところ聞いていない。今年から、熊野神社の駐車場を区別したが、特に苦情は聞いていない。満車の場合は、防災グループの手前の駐車場を利用していただけことが可能である。(事務局)

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

(課題)

- ・ 体力テストの結果を踏まえた体力向上の取組、授業の工夫改善、部活動との連携による基礎体力の向上推進に努める。
- ・ 中学生の「バランスの良い朝食摂取率」の向上推進に努める。

②第11回小野ハーフマラソン2024

(進捗状況)

- ・ 9月20日の締切後の速報値は、協賛ランナーも含めた総数が5,542人で、昨年度より300人程度増えている。

(今後の予定)

- ・ 昨年度、非常に混雑しバスが遅れ、発走時刻に間に合わないランナーもいたため、今年度はバスの増便等で対策していく予定にしている。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○小野市内中学校体育祭（5月開催の河合中学校を除く）

日 時：9月14日（土） 旭丘中学校
9月28日（土） 小野南中学校、小野中学校

○小野市中学校新人体育大会（別紙詳細）

日 時：9月21日（土） 予備日：9月22日（日）、23日（月・祝）
※陸上競技は、井上記念小野市陸上競技大会と兼ねて開催
場 所：アルゴ、アクト、アレオ、小野中学校等（小野市内公共施設）
主 催：小野市中学校体育連盟

2 社会体育

○2024ソフトバレーボール大会 in ONO

日 時：9月15日（日）9時00分 開会
場 所：小野市総合体育館（アルゴ）アリーナ
主 催：小野市スポーツ推進委員会

3 今後の予定

○第51回小野市小学生陸上競技大会（兼井上記念小野市陸上競技大会）

日 時：10月6日（日）9時00分 開会
場 所：小野希望の丘陸上競技場
主 催：小野市小学校体育研究会・小野市陸上競技協会

○「スポーツクラブ21ひょうご」播磨東地区交流フェスティバル

日 時：11月23日（土）9時00分～12時00分
場 所：加古川市立総合体育館（加古川市西神吉町縣1010） 予定
主 催：「スポーツクラブ21ひょうご」播磨東地区連絡協議会
主 管：加古川市スポーツクラブ21連絡協議会

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：中学校の体育祭に参加された感想や意見をお聞きしたい。(教育長)

A：小野南中学校の体育祭では、子どもたちが自主的に主導している姿が印象的であった。応援も元気で、力がみなぎっており、非常に感動した。(教育委員)

A：旭丘中学校の体育祭で、玉入れの滑車が故障するハプニングが起きて、中断された時間があった。その時間を、各応援団長がチームを盛り上げて、応援合戦が始まった。子どもたちの臨機応変な対応が、とても素晴らしいと思った。(教育委員)

Q：小野南中学校の体育祭の開会式で、子どもたちは、白い帽子を被っていた。以前、中学校の帽子の件を質疑させていただいた時に、統一されていないと聞いていたが、他の中学校はどうだったのか。(教育委員)

A：旭丘中学校は、ハチマキをしている状態で、帽子は被っていなかった。(教育委員)

A：今年度は、暑さ対策で時期をずらしたので、例年より涼しく、ハチマキで統一していたのではないかと思う。旭丘中学校は、白い帽子を全員買って、暑い日には、体育の時間等で被っている。(教育長)

Q：中間テストの日程が、中学校によって違うと聞いたが、それぞれの学校で決めているのか。例えば、2学期の間に、中間テストと期末テストを実施すればよいと決まっているだけなのか。(教育委員)

A：基本的には、学校行事等を鑑みて、学校長が設定する。特に、市内全ての中学校で、中間テストが同一日程でないといけないということはない。また、中間テストも期末テストも実施しなければならないという決まりもない。そのため、全国では、期末テストのみ実施する学校や、どちらのテストも実施しない学校もある。(事務局)

Q：保護者にとって、今までの行事の順序が染み着いているため、前倒し等で日程が変わると、少し戸惑うことがある。何か理由付けをしていただけると、納得できると思う。また、日程を変更することで、子どもたちが、それぞれの行事に集中できることは非常に良い事だと思っている。(教育委員)

A：部活動の中体連の県大会等が、前倒しになってきているため、東播大会や市内大会も例年より早くなっている。そのため、大会の前に中間テストや体育祭をするのか、大会の後にするのか等、学校長の考え方によって、時期が違ってきている。また、部活動の県大会や東播大会等で、学校行事を抜ける子どももおおり、一度、中体連の行事等や大会の実施方法等も見直す必要があるのではないかと考えている。(教育長)

4 協議事項

○「市長への手紙（教育委員会分）」の状況について（別紙詳細）

今年度は、学校教育課が8件、教育総務課が7件、いきいき社会創造課が8件、スポーツ振興課が15件で、教育委員会合計が38件となっている。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：「図書館の絵本の並びがタイトルの五十音順になっている」という意見は、利用されている方の率直な気持ちだと思うが、全国の図書館はどうなっているのか。（教育委員）

A：日本十進分類法上は、タイトルの五十音順で問題はない。このやり方の図書館の方が多く聞いているが、近隣の図書館には、作者順になっているところがあった。（事務局）

A：例えば、クリスマスの絵本が読みたい場合は「く」の場所、おぼけの絵本が読みたい場合は「お」の場所に行けば、様々な作者の絵本の中から選べることができる。もし、このような意見と同様の意見が多数出てきた場合、検討したいと思う。（いきいき社会創造課）

Q：「図書館の閉館時間を20時にする」という意見について、人員や予算の関係で難しいと思うが、どうなのか。（教育委員）

A：過去には、月曜日を休館日とし、開館時間を延長したことがあった。その時の費用対効果や利用人数等を検証した結果、現在の方が利用率が高いこともあり、全日開館で18時閉館としている。近隣では、加古川市や明石市が20時まで開館しているが、指定管理で運営している。指定管理にすると民間に委託するため、予算の問題が発生する。稲美町の図書館は、過去に指定管理だったが、現在は直営に戻している。図書館は、基本的に利益を生み出さない施設なので、投入できる資源と人的財源には限界がある。現在もどこで折り合いをつけるのが良いのか研究している段階である。（事務局）

Q：「体育館で学校の大型扇風機等の備品を使用させてほしい」という意見があるが、学校の備品は使用できないのか。（教育委員）

A：基本的に学校の備品は、子どもたちが授業等で使用するために購入しているため、使用できない。（事務局）

Q：「アルゴの体育館観覧席の柵が低く、幼児が転落する可能性が考えられるため、改善してほしい」という意見には、どのように回答したのか。（教育委員）

A：実際に現場で検証した結果、法令的には問題はなかった。しかし、子どもたちが椅子の上に立った場合、乗り越えて転落する可能性があるため、注意喚起を徹底することと、改善についても検討していくという回答をしている。（事務局）

Q : 「部活動で、日焼け止めに自由に塗らせてほしい。制汗スプレーも使わせてほしい」という意見があるが、日焼け止めは塗ってはいけないのか。(教育委員)

A : 無香料であれば使用してよい。制汗スプレーで、缶タイプのものは爆発する恐れがあるため、使用禁止だが、制汗シートは、無香料であれば使用してよい。(事務局)

Q : 「給食費の無料化」という意見があるが、毎年、挙がっているのか。(教育委員)

A : 近隣市が無償化をしているため、毎年、同様の意見が挙がっている。小野市は、就学援助や生活保護等の制度があり、低所得者層においては無償化が成立している。また、小野市は、給食費の無償化よりも教育環境の整備に力を入れている。(事務局)

Q : 「通学バスの導入」という意見で、今年は熱中症等で、下校時に気分が悪くなった等といった話は聞いていないか。また、3キロという距離はどうなのか。(教育委員)

A : 今年も聞いていない。学校の対応も、一番暑い時間をずらして下校させたり、首に巻く冷却リング等も基本的には認めたりしている。(事務局)

A : 3キロという距離は、子どもの足で約1時間くらいかかるため、1年生にとっては、かなりしんどい距離である。(事務局)

A : 文部科学省の基準では、4キロまでは徒歩通学になっているが、近隣市においても2キロ以上を通学バスの対象としていくということなので、同様の要望や意見が増えてくるのではないかと考えている。(事務局)

Q : 「市長への手紙」は、自分の名前を記入しなければいけないのか。(教育委員)

A : 記名でも無記名でも構わないが、無記名の場合は、返事が届かない。(事務局)

Q : ここに挙がっている「市長への手紙」は、すべて回答済みなのか。(教育委員)

A : すべて回答済みである。(事務局)

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について（別紙詳細）

◆コミュニティ・スクールとは

「学校運営協議会」を設置している学校のこと、学校と地域住民が力を合わせて、子どもたちのよりよい環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を目指す仕組みである。

◆導入する主なメリット・デメリット

主なメリット	主なデメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職や教職員の異動があっても、地域との組織的な連携・協働体制が継続できる ・地域が学校に協力的になることで、登下校支援等、教師の働き方改革の一端を担う人材の確保ができる ・子どもたちの自己肯定感や他人を思いやる心の醸成につながる。 ・地域とのつながりが強くなることで、見守り体制の強化につながる ・保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できる ・地域の方々の経験を活かすことで、生きがいや自己有用感につながる。 ・学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度を追うごとに、委員や地域の声や権限が大きくなりすぎる可能性がある ・委員の発言が学校の方向性と逆になる恐れがある ・教職員の任用に関して、意見を述べるができるため、学校運営に支障がないか危惧する声がある ・コーディネーター役の先生の負担が大きくなる ・関わる人の意欲に左右される可能性がある ・成果がでるまで数年かかることも考えられる

◆小野市としての方向性

河合中校区では、「小中一貫教育」を学校と保護者、地域の方々とともに進めてきた経緯がある。また、この土台をもとに、年々進化・発展しており、多くの成果も出ている。しかし、現行の「小中一貫推進協議会」を「学校運営協議会」に置換えた場合、旭丘中校区では、委員の人数が多くなり、本来の趣旨に添わないことが考えられる。これらのことを踏まえ、小野市では、コミュニティ・スクール導入にあたり、従来の「学校評議員制度」を新たに「学校運営協議会」として移行することを軸として考えていく。地域と学校が協力して、子どもたちの未来のためにできることは何か、一緒に知恵を出し合いながら前に進めていく組織にしていきたいと考えている。

また、地域との共同活動が、子どもたちの自己有用感や自尊感情といった非認知能力を育てると川島隆太教授からアドバイスもいただいているため、今の取組にプラスアルファして、脳科学を基にした活動もできるようにしたいと考えている。

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：コミュニティ・スクールの導入研修会には、教育委員や我々も参加できるのか。
(事務局)

A：参加できる。市役所2階の会議室で開催する予定である。(事務局)

Q：コミュニティ・スクールを導入すると、何か大きく変わってしまうのではないかと心配していたが、小野市はすでに学校と保護者と地域の連携体制があり、コミュニティ・スクールの土台ができているため、大きく変わることはないと聞いている。今後は、学校評議員の人数が増えて、学校の運営に関わることが多くなるという受け止め方でよいのか。(教育委員)

A：そのとおり。学校の先生も、何か困ったことがあったら、一度、地域に投げて聞いてみる。そうすれば、援助してくれる人も出てくるかもしれない。学校としては、もう少しそういう姿勢を持つ必要が出てくるのではないかと考えている。(事務局)

Q：学校運営協議会の人数は、学校の規模に関わらず、6～8名なのか。(教育委員)

Q：保護者代表は、PTAということでよいか。(教育委員)

A：人数が多くなり、様々な意見が多数出てくると、纏めにくくなるため、初めは学校の規模に関わらず、6～8名で進めていきたい。進めていくうちに、もう少し広く意見を聞きたいという話が出てきた場合は、人数を増やしたいと考えている。保護者代表は、PTA会長である。(事務局)

Q：学校運営協議会は、学校が何かを導入する時や、購入する時に話し合いが持たれて、協議していくということによいのか。(教育委員)

A：そのとおり。今まで、学校の運営方針は、学校の職員会議だけで決めていた。それを、地域の方々にも話をして承認いただくということである。(事務局)

Q：学校運営協議会は、何か事業を行うということはないのか。会議をするだけなのか。(事務局)

A：先行して導入している丹波篠山市の実践発表では、子どもの数が減って、子どもたちだけではプール掃除ができないため、学校運営協議会に相談すると、掃除道具が集まり、保護者の方が手伝いに来て、一緒にプール掃除をしたという例や、花壇の草が伸びて困っていると、学校長が学校運営協議会に相談すると、地域の方々が集まってきて、一緒に草引きをしたという例を聞いている。ただ、発表を聞いていて、困った事だけを学校運営協議会に投げるのは、どうなのかということが少し気になった点である。(事務局)

A：文部科学省の意図しているところは、そういったことではないような気がする。そのため、現実と理想のギャップにどう対処するのが問題である。この制度は、地域の方々が人事権に意見してよいということにおいては画期的ではあるが、学校現場においては、踏み込んだ、抵抗のある制度である。文部科学省は、地域の中心は学校であるという考え方でやっているが、部活動の地域移行と同様に、それでは回らない地域がたくさんあるため、それぞれ、地域の特性に合った地域のやり方で、実施する方がよいと考えている。(事務局)

5 その他

- ・令和6年度播磨東地区教育委員会連合会合同研修会
日 時：11月21日（木）13時30分～15時00分
場 所：明石市役所 北庁舎5階 ゆほびかホール

6 次回定例教育委員会予定

令和6年10月24日（木）13時30分～ 4階会議室4-1

7 閉会あいさつ 教育長